TC-HELICON

VOICELIVE RACK



基本マニュアル

重要 - 安全のための注意事項

安全のための注意事項

1 注意事項をお読みください。
2 注意事項の書類は手の届くところに保管してください。
3 全ての警告をお守りください。
4 全ての指示に従ってください。
5 本装置を水気の近くで使用しないでください。
6 本装置の手入れは、乾いた布のみを使用してください。
7 換気に必要となる本装置の開口部は塞がないでください。
8 本装置の設置は、製造者の指示に従ってください。
9 ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、アンプリファイア等、またそれに限定されないあらゆる熱を発する機器の近くに設置しないでください。
10 本装置に設置するアクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
11 本装置の点検・修理は、必ず資格を持った技術者にご依頼ください。電源ケーブルや電源プラグが破損した、液体を本体にこぼした、本体シャーシ内に異物が入ってしまった、雨や過度の湿度にさらした、本装置の動作異常が生じた、本装置を落としたなど、原因に関わらず本装置に破損が生じた場合はサービスが必要です。

警告！

- 感電や発火のリスクを軽減するため、本体に水が垂れたりはねる環境での保管・使用は避け、花瓶等液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。

点検・修理について

本装置の点検・修理は、必ず資格を持った技術者にご依頼ください。

注意

本マニュアルに明示されていない本体の変更・改造を行った場合、保証が無効となることがあります。

EMC/EMI

本装置は FCC 基準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じうる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本装置は無線周波エネルギーを生成･使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源を落としてから再投入してください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で障害の解消を試みることを推奨します。

- 受信アンテナの方向、設置場所を変更する
- 本装置と受信機の距離を遠ざける
- 本装置を受信機とは別の系統の電源回路に接続する
- 必要に応じて、販売代理店、または経験のある無線／ TV の専門技術者に問い合わせてください。

For the Customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.
本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

目次

はじめに

1. 詳細マニュアルをダウンロードしてください

本製品には、「基本マニュアル」が付属しています。最新の「詳細マニュアル」を入手するには、次の URL から、ご使用の製品を選択してください。

www.tc-helicon.com/support

保証内容は、同 URL の「Warranty」で確認できます。

2. VoiceSupport をダウンロードしてください

最新ファームウェア、使用上のヒント、ビデオなどを入手または閲覧できます。
www.tc-helicon.com/ voicesupport からダウンロードできます。

3. VoiceSupport でユーザー登録をお済ませください

製品のユーザー登録を行なうには、ACCOUNT ボタンをクリックします。

目次

イントロダクション 4
フロントパネル 5-7
リアパネル 8-9
クイックスタート 11
a. 接続 11
b. インプット・レベルの設定 11
c. 音を出す 11
ハーモニーとハードチューン・プリセット：
　楽器または音楽トラックを使った場合 11
　楽器または音楽トラックを使わない場合 12
基本操作 13
プリセットの選択 13
プリセットの検索 13
プリセットの設定変更 13
グローバル・ミックスの変更 14
ギター用機能の設定 14
SETUP（セットアップ）メニュー -
ファンタム、モノラル、MIDI 等の設定 14
TONE - トーン・セッティングの調節 14
STEP - ステップ機能によるプリセット・チェイン 15
本体のリセット 15
個別のプリセットを工場出荷時の設定に戻す 15
MIC CONTROL とフットスイッチの割り当て 15
ユーザー・プロファイルの保存とリコール 16
FAQ 17
シグナル・パス図 18

イントロダクション

この度は、VoiceLive Rack プログラマブル・マイク・チャンネル／ヴォーカル・エフェクト・プロセッサーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、VoiceLive 2 の充実した機能を 19" ラックの形体で使用したいというユーザーからの要望に応えて開発されたものです。

主な機能

- 高品質ヴォーカル・チャンネル／エフェクト・プロセッサー
- 8 つのエフェクト・ブロックをコンパクト・エフェクトのように個別コントロール可能
- ユーザー・プロファイル : マイク・プリアンプと SETUP メニュー内のパラメーター設定を 10 まで保存してトータル・リコールが可能
- ユニークなタッチ・インターフェイスを採用
- 明るく見やすい大型 LCD スクリーン
- ウィザード機能によるプリセット検索
- 最大 4 声の NaturalPlay ハーモニー生成
- ギター／ MIDI ／ MP3 プレイヤー等によるハーモニーの外部コントロールに対応
- グローバル・アダプティブ・トーンならびに自動クロマチック・ピッチ補正エフェクトを搭載
- 400 のユーザー・プリセット
- オーディオ・ストリーミング、アップデート、バックアップ用の USB 端子
- ギターをメイン・アウトにミックス可能、ギター系統専用のエフェクト搭載

TC-Helicon について

TC-Helicon は、シンガーのクリエイティビティーとコントロールに特化した製品を専門としたプロオーディオ業界唯一の会社です。本拠地であるカナダ・ビクトリア州には、シンガーやボイス・プロダクションに携わる人たちと密に情報交換をしている多数のエンジニアや研究員、そしてプロダクト・スペシャリストが集結しています。

TC-Helicon は、ボーカリストが必要としているもの、そしてパフォーマンスのクリエイティビティを刺激するような製品は何なのかを常に考え、それを形にしています。



MP-75 Mic

フロントパネル

タッチでインプット・ゲイン調節画面に、ホールドで自動インプット・ゲイン機能の設定画面に移動します。

タッチすると、タグ別のプリセット閲覧画面に移動します。プリセット選択の際に、呼び出しのタイミングを指定する用途にも使用できます。

操作中の現行メニューから、メインのプリセット表示画面であるホーム画面に戻ります。



電源をオン／オフします。

ヘッドホンを接続して、メイン・アウトプット・ミックスをモニタリングできます。

セットアップ・メニューとパラメーターにアクセスします。HOME をタッチすると終了します。

プリセットの保存と管理機能の設定に使用します。

エディット・メニューとパラメーターにアクセスします。HOME をタッチすると終了します。

フロントパネル

プリセットのステップが指定されている場合にはその情報（COUNT）を、ホーム・モードでは現行ステップを表示します。

MP-75 マイク（別売）の MIC CONTROL ボタンに割り当てられているパラメーターを表示します。

メイン・ホイール：ホーム・モードではプリセットを変更します。エディット・モードでは列を移動します。

ホーム・モードではプリセット名と番号を表示します。エディット・モードではパラメーターを表示します。



NAVIGATE（ナビゲート）矢印ボタン：ホーム・モードではプリセット番号を一つ増減させます。エディット・モードでは列を移動します。

MIX（ミックス）ノブ：ホーム画面からノブを 1 クリック回すと、4 つのグローバル・ミックス・パラメーターの値が一時的に表示され、調節が行えるようになります。

エディット・モードでは、パラメーターの値を変更します。

TAB/STEP（タブ／ステップ）矢印ボタン：ホーム・モードでは、プリセット・ステップの管理と、プリセット・ステップの切り替えに使用します。エディット・モードでは、タブを選択します。

フロントパネル

タッチで個別のエフェクトをオン／オフします。ホールドでエフェクトのエディット画面に移動します。

タッチでアダプティブ EQ／コンプレッサー／ディエッサー／ゲートをオン／オフします。ホールドでエディット画面に移動します。

タッチで自動クロマチック・ピッチ補正をオン／オフします。ホールドでピッチ補正のエディット画面に移動します。



TONE を除く全てのプロセッシングをミュートします。

MP-75 マイクのスイッチと同じ機能を持ち、割り当てたパラメーターのスイッチングを行います。

HOME モードから楽曲のテンポに合わせてタップすることでディレイ・タイムを設定します。

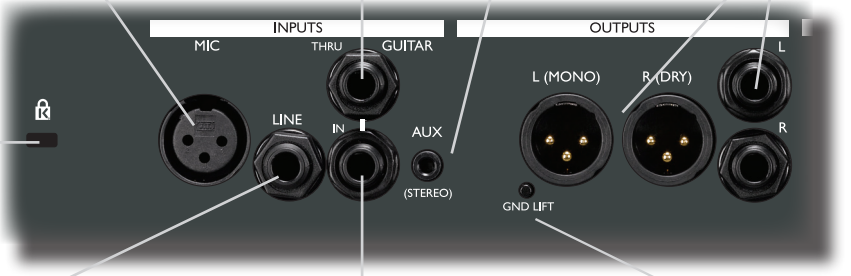
リアパネル

ダイナミックまたはコンデンサー・マイク用の入力です。インプット・ゲインの調節とファンタム・パワーのオン／オフはSETUP メニューで行います。

ギター信号をドライのままアンプまたは PA に送れます。この端子を使用するとギター信号がメイン・ミックスから外されます。

MP3 プレイヤーからの信号をメイン・ミックスにミックスできます。ハーモニーと HardTune のガイドとして使用できます。

バランス仕様のメイン・アウト端子です。デフォルトの出力設定はステレオです。SETUP メニューからモノラルまたはデュアル・モノに変更できます。



Kensington® ロック用ポート

ライン入力です。TRS バランスまたはアンバランス・ケーブルを接続します。

ギターを接続して、ハーモニーと HardTune エフェクトのガイドとして使用できます。THRU 端子が未接続の場合は、ギターにエフェクトを加えてメイン・ミックスから出力できます。

PA からグラウンド・バズ・ノイズが聴こえる場合にスイッチをオンにします。通常はオフの状態でご使用ください。

リアパネル

S/PDIF 出力は常に有効です。フルミックス、またはボーカルとギターを左右チャンネルに分離した出力のいずれかを SETUP メニューで指定できます。

外部 MIDI キーボード等からハーモニーの外部コントロールやプリセット選択等が行なえます。この入力を使用するには、SETUP メニューの USB CONTROL パラメーターをオフにしてください。

コンピューター接続用の USB 端子です。オーディオの入出力と、バージョン・アップデートやプリセットのバックアップ等のシステム管理に使用できます。

ケーブル・キャッチは、AC アダプター・ケーブルが不意に抜けてしまうことを防ぎます。



S/PDIF 入力をドライのままアナログ・ミックスに送るか、エフェクト処理用にヴォーカル（L）／楽器（R）用入力として使用するかを選べます。

別売オプションの Switch 3 フットスイッチを接続するための端子です。プリセット単位、またはグローバルなコントロールが行えます。



付属の AC アダプターをここに接続します。

a. 接続

1. PA のメイン・ボリュームまたはミキサーの入力を絞ります。
2. ミキサーからマイクまたはライン・レベルの出力を VoiceLive Rack の入力に接続します。
3. VoiceLive Touch の XLR または TRS ステレオ出力をミキサーまたは PA に接続します。
4. 付属の AC アダプターを製品に接続して、POWER（パワー）ボタンを押します。

b. インプット・レベルの設定

1. BYPASS（バイパス）ボタンをタッチします。ボタンが点滅します。
2. INPUT GAIN（インプット・ゲイン）ボタンをタッチします。
3. ディスプレイの IN（イン）メーターを見ながら歌い始めるまたはボーカル・トラックを再生します。
4. IN メーターを確認しながら、CLIP（クリップ）メッセージが表示されない範囲で IN GAIN（イン・ゲイン）の設定を調整します。
5. HOME（ホーム）をタッチしてインプット・ゲインの設定画面を終了します。

c. 音を出す

1. ホイールまたは上下矢印ボタンでプリセット 6: BRIGHT DOUBLE を選択します。
2. 歌い始めるかドライのボーカル・トラックの再生を開始して、VoiceLive Rack の出力が良好な音量で聴こえるようにモニター／ PA のレベルを調節します。
3. BYPASS ボタンをタッチして、プリセットの効果を確認します。
4. 様々なプリセットを試聴するか、エフェクト・ブロック・ボタン（µMOD ／ DELAY ／ REVERB 等）をタッチしてプリセット内の個別のエフェクトをオン／オフします。

ハーモニーとハードチューン・プリセット（楽器または音楽トラックを使った場合）

HARMONY（ハーモニー）または HARDTUNE（ハードチューン）ボタンが点灯しているプリセットで楽曲に合ったエフェクトを得るには、音程に関連した情報を与える必要があります。VoiceLive Rack は接続されている機器を検知し（下記参照）、自動的にその機器から情報を得る設定に切り替わります。

1. 伴奏用の楽器または音楽プレイヤーを VoiceLive Rack に接続します。接続する機器によって使用する端子は次の通りです。
   - ギター：GUITAR IN 端子に接続します。
   - MIDI キーボード（チャンネル 1）：MIDI IN に接続します。
   - MP3 プレイヤー：AUX IN に接続します。
2. 1: SIXTH ENCORE 等のハーモニー・プリセットを選択します。
3. 伴奏の楽器を演奏またはトラックを再生させながら歌い始め、マイクの信号を VoiceLive Rack に送ります。音楽のコード・チェンジに合わせてハーモニーの音程が変わるのが確認できるはずです。

デフォルトの状態では、GUITAR と AUX インプットの信号はメイン・ミックスの出力にルーティングされます。ミュートまたはレベルを変更するには、SETUP（セットアップ）メニューの GUITAR または I/O タブで設定を行います。

クイックスタート

ハーモニーとハードチューン・プリセット（楽器または音楽トラックを使わない場合）

固定のキーとスケールでハーモニーを生成させることができます。この方式は、多くの楽曲で良好な結果が得られるものの、100% 全ての楽曲に対応できる訳ではありません。本番でこのモードを使用する場合は、リハーサル時における事前の実験と確認が必須となります。

1. 特定のキーとスケールで歌えるように、伴奏が必要です。楽器は特に問いません。
2. SETUP ボタンをタッチして、TAB/STEP 矢印ボタンで SYSTEM タブに移動します。
3. GLOBAL NATURALPLAY を SCALE に、GLOBAL KEY/SCALE を ON に設定します。
4. EDIT ボタンをタッチして、HARMONY タブに移動します。
5. KEY と SCALE パラメーターを、伴奏に合うキーとスケール * に合わせます。多くの場合、これは最初または最後のコードとなります。
6. 伴奏に合わせて歌います。

* 3 種類のメジャー・スケールと 3 種類のマイナー・スケールが用意されています。通常最も汎用性が高いのは MAJOR 2 と MINOR 2 です。詳しくは、詳細マニュアルをご参照ください。

HOME をタッチして設定を終了します。ここからは、様々なプリセットをお試しください。上記 3. で設定したキーは全てのプリセットに反映されます。

プリセットの選択

VoiceLive Rack には 200 を超えるファクトリー・プリセットが用意されています。プリセットは LCD ウィンドウに表示されるのと同時にロードされます。

プリセット選択の手順は次の通りです。

1. HOME ボタンの LED が点灯していることを確認します。
2a. エンコーダー・ホイールを回します。クリック毎にプリセットが 1 つ変わります。別の操作方法として、
2b. 上下矢印ボタンでプリセット番号をひとつずつ変えられます。

プリセットの検索

WIZARD（ウィザード）機能を使うと、プリセットをアルファベット順に表示、または分類を示す「タグ」検索の該当項目を表示させることができます。プリセットをロードすることなく閲覧する用途にも使用できます。

プリセット検索の手順は次の通りです。

1. WIZARD ボタンをタッチします。
2. MIX ノブで SORT（ソート）機能を選択するか、3 つまでのタグ検索条件を選択します。
3. エンコーダー・ホイールを回して、検索またはソート結果を閲覧します。
4. WIZARD ボタンを押して、ハイライトされているプリセットをロードします。

プリセットの設定変更

タブ形式のメニューから、エフェクト・ブロック・ボタンと矢印ボタンを使って現行プリセットの内容を素早く変更できます。

エフェクト・ブロックのオン／オフでプリセットの設定を変更する手順は次の通りです。

1. エフェクト･ブロック･ボタンをタッチすると、オン／オフが切り替わります。ボタンの LED が状態を示します。

エフェクト･ブロックのパラメーター（プリセット･ミックスを含む）をエディットする手順は次の通りです。

1. いずれかの方法でエフェクト・エディット・メニューに入ります。
a. エフェクト・ブロック・ボタンを 1 秒ホールド（タッチして離さない状態）します。
b. EDIT（エディット）ボタンをタッチして、TAB/STEP 矢印ボタンでエディットしたいエフェクトのタブを選択します。
2. MIX ノブで、ハイライトされている行のパラメータ値を調節します。
3. ホイールまたは NAVIGATE 上下矢印ボタンで別の行に移動できます。
4. 設定が完了したら、STORE（ストア）ボタンを 2 回タッチすることで変更内容を保存できます。HOME ボタンをタッチすると、変更内容を保存せずにプリセット選択画面に戻ります。

基本操作

グローバル・ミックスの変更

フロントパネルの MIX ノブから 4 種類のグローバル・ミックス・レベルを調整できます。HOME からこれらのコントロールを調整すると、ミックス画面がこれらの値を MIC/LINE インプット／ギター・インプット／メイン・アウトプット・レベルと共に表示します。

- VOICES（ヴォイス） - ハーモニーとダブリング・ヴォイスのレベルを調整します。
- DELAY/REVERB（ディレイ／リバーブ） - ディレイとリバーブ・エフェクトのレベルを調整します。
- GUITAR（ギター） - ギター・インプットを使っていて GUITAR THRU 端子が未使用の場合、ここでメイン・アウトプット・ミックスのギター・レベルを調整します。
- OUTPUT（アウトプット） - メイン・アウトプットとヘッドホン・アウトの全体的なアウトプット・レベルを調整します。

ギター用機能の設定

ギター・インプットには、専用のリバーブ／ µMod プロセッサー／ 3 バンド EQ ／コンプレッサーが用意されています。ギター・インプットに入力された信号は、GUITAR THRU 端子にジャックが挿されている場合を除いて、エフェクトが施された状態でメイン・アウトプット・ミックスから出力されます。

ギター・エフェクトの設定を調節する手順は次の通りです。

1. SETUP ボタンをタッチします。
2. TAB/STEP 矢印ボタンで GUITAR タブに移動します。
3. NAVIGATE 矢印ボタンと MIX ノブで GUITAR タブ内のパラメーターの選択と調整を行います。

変更した設定は電源をオフにしても保持され、次回電源を投入した際には以前の設定で立ち上がります。

SETUP（セットアップ）メニュー - ファンタム、モノラル、MIDI 等の設定

SETUP メニューでは、本体全体の動作に関わるグローバル・パラメーターを調節します。SETUP メニューでは、設定を変更すると同時にその内容が保存されていきます。DIGITAL IN（デジタル・イン）や LEAD MUTE（リード・ミュート）等一部のパラメーターは、設定によって予期せず音がとぎれたりすることがありますので、操作の前に詳細マニュアルをご確認いただくことをお勧めいたします。

グローバル・セットアップ・パラメーターを調節する手順は次の通りです。

1. SETUP ボタンをタッチして、SETUP メニューに入ります。
2. TAB/STEP と NAVIGATE 矢印ボタンでパラメーターの選択、MIX ノブで設定値の調整を行います。
3. 設定が終了したら、HOME をタッチします。

TONE - トーン・セッティングの調節

TONE 機能は、アダプティブ・シェイプ EQ ／コンプレッション／ディエッサー／ゲートの組み合わせで、設定の調整が自動的に行われることを特徴としています。設定を手動で変更することも可能です。

トーン機能の設定を変更する手順は次の通りです。

1. TONE ボタンをホールド（タッチして指を離さない状態）して TONE メニューに移動します。
2. 最初の TONE タブで、サウンドのブライトネスとベース・ロールオフをコ

ントロールする SHAPE コントロールやコンプレッションの量を調節する COMPRESS コントロール等の一般的な調整を行います。
3. TAB/STEP 矢印ボタンで個別のエフェクトに移動して、必要に応じて ADAPTIVE（アダプティブ）パラメーターをオフにします。オフにすると、手動で設定可能な追加のパラメーターが表示されます。

STEP - ステップ機能によるプリセット・チェイン

ステップ機能は、特定のプリセットにエフェクトの状態の変化を上限 10 個まで記憶させて、TAB/STEP 矢印ボタンまたはフットスイッチで順番に切り替えられる機能です。各ステップには、始点となるプリセットの設定を一部変更したもの、または別のプリセットの設定を含めることができます。設定の手順は次の通りです。

1. 始点となるプリセットを選択して、右 STEP 矢印ボタンをホールドします。
2. 画面に表示される指示に従ってステップの挿入と削除を行います。

インサートしたステップの内容は自動的に保存されます。プリセットを元の状態に戻す手順については、「個別のプリセットを工場出荷時の設定に戻す」セクションをご参照ください。

本体のリセット

グローバル・リセットを行うと、全てのプリセットとシステム・パラメーターの設定が工場出荷時のデフォルトに戻ります。

操作の手順は次の通りです。
1. 本体をオンにします。
2. LCD 画面に最初の文字が表示されたら、リセット画面に切り替わるまで µMOD ／ DELAY ／ REVERB ／ TONE の 4 つのボタンをホールドします。

リセットには、2 分程度かかることがあります。

個別のプリセットを工場出荷時の設定に戻す

個別のプリセットを工場出荷時の設定にリセットする手順は次の通りです。

1. STORE メニューの MANAGE PRESET（プリセット管理）タブに移動します。
2. ERASE USER PRESET（ユーザー・プリセット消去）を選択します。プリセットを指定して、CONFIRM（コンファーム - 確認）を YES に設定します。
3. STORE をタッチします。

MIC CONTROL とフットスイッチの割り当て

MP-75 マイクまたは Switch 3 フットスイッチから外部コントロールするパラメーターの指定は、プリセット単位またはグローバルで設定できます。

MIC CONTROL とフットスイッチ割り当ての設定手順は次の通りです。

1. 設定をプリセット単位で行う場合は EDIT メニュー、グローバルに行う場合は SETUP メニューの MIC CONTROL または SWITCH3 タブに移動します。
2. 必要な割り当てを行います。
3. プリセット単位の指定を行った場合、設定内容を保存します。グローバルな設定を行った場合、保存の操作をする必要はありません。

基本操作

ユーザー・プロファイルの保存とリコール

SETUP メニューの全ての設定を複数保存して、任意に切り替えることができます。この領域は「プロファイル」と呼ばれ、保存できる上限数は 10 です。マイクを使用するライブ時とデジタル入力を使うスタジオ・ユースの間で設定を素早く切り替える、といった用途に使用できます。

ユーザー・プロファイルを保存する手順は次の通りです。

1. SETUP メニューのパラメーター設定を行います。
2. STORE ボタンを 1 回タッチします。
3. STORE SETUP タブに移動します。
4. プロファイルの名称を入力して、保存場所の番号を指定します。
5. STORE ボタンを押して、操作を確定します。

ユーザー・プロファイルをリコールする手順は次の通りです。

1. STORE ボタンをタッチします。
2. LOAD SETUP タブに移動します。
3. LOAD FROM パラメーターの下に表示される数字を調節して、様々なセットアップの名称を確認します。
4. STORE ボタンを押して、プロファイルを呼び出します。

サポートを受けるにはどうすればいいのでしょうか?
TC-Helicon は、充実した製品サポートの体制を整えております。www.tc-helicon.com/support から製品別のサポートまたは FAQ 項目を参照するか、直接ご連絡ください。

プリセットによってタップ・テンポが見えません
ディレイ・タイムが、テンポではなく実時間で設定されています。タップ可能にするには、EDIT メニューの DELAY エディット・タブに移動して、SOURCE パラメーターを TAP に設定します。必要に応じて変更内容を保存します。

音が歪みます
TRANSDUCER エフェクトの一部のスタイルは意図的に音を歪ませます。エフェクトがオフでも音が歪む場合は、歌いながら INPUT GAIN ボタンをホールドして、インプットの段階でクリップが生じていないことをご確認ください。

フィードバックが生じてしまいます
TONE メニューから、リードとハーモニーそれぞれのゲートのアッテネーション量を上げてみてください。GATE パラメーターを MANUAL にして、THRESHOLD を上げてみてください。ヴォーカル・モニターがマイクのデッド・エリアに向けて鳴るようにしてください。最終手段としては、TONE をオフにするか、モニター・レベルまたはステージ・レベルを下げます。

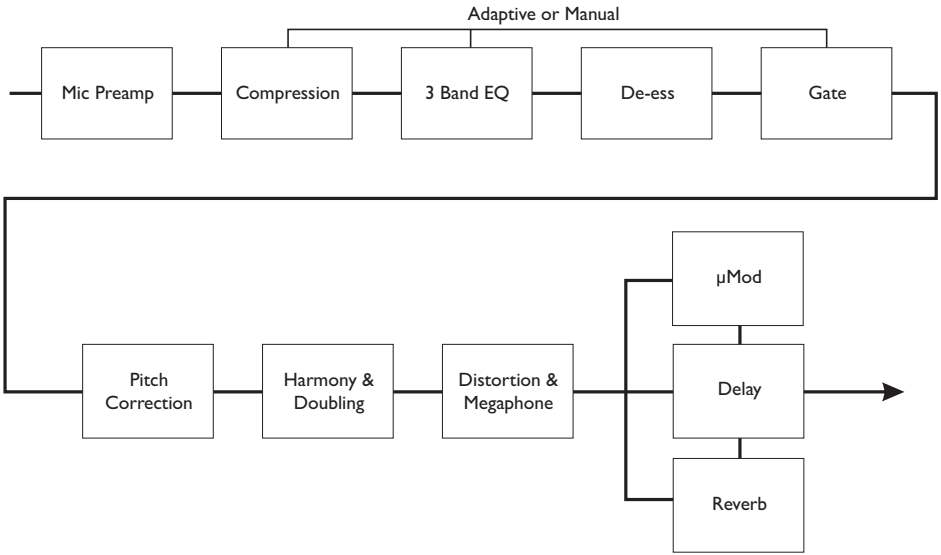
エフェクト・ブロックを全てオフにしてもコーラス効果がかかって聴こえます
ピッチ・エフェクトがオンになっている可能性があります。ピッチ補正を掛けた際にヴォーカリスト本人に聴こえる音のうねりは、自分の声と補正された声の音程差により生じます。

歌うと MIC CONTROL 機能が勝手に作動してしまいます
一部の機材でこの現象が生じることがあります。別のマイクに変えるか、SETUP メニューから MIC CONTROL 機能をオフにします。

MIDI In にキーボードを接続して MIDI チャンネルを合わせても、作動しません
SETUP メニューの MIDI タブ内にある USB CONTROL パラメーターがオフになっていることを確認します。

インプットとアウトプットを PA に接続しましたが、VoiceLive Rack の入出力がうまくいきません
アウトプット・ミックスのレベルが上がっていることをご確認ください。0 dB は「オフ」ではなく、「フルレベル」を示します。SETUP メニュー内 I/O タブの DIGITAL IN パラメーターの設定をご確認ください（USB STEREO または S/PDIF STEREO）。

シグナル・パス図


Adaptive or Manual
Mic Preamp
Compression
3 Band EQ
De-ess
Gate
Pitch Correction
Harmony & Doubling
Distortion & Megaphone
µMod
Delay
Reverb